開会の辞

香川県議会議員
大山一郎
全国大会実行委員会委員長



本日は、全国道路利用者会議の佐藤会長、古賀最高顧問をはじめ、国土交通省の和田大臣官房審議官、香川県の池田知事、香川県議会の氏家議長など、全国各地から多くの皆様方に、ご臨席いただき、誠にありがとうございます。

本県での開催は平成26年以来、12年ぶりとなりますが、開催にあたりましては関係各位の皆様から多大なご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

なお、皆様既にご承知のことと存じますが、本年８月18日に、当会議で会長並びに最高顧問を務められ、12年前の本大会にもお越しいただきました、綿貫民輔先生がご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、これまで我が国の発展に多大なご尽力を賜りましたことに心より、感謝を申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興と平穏な暮らしの回復を心より願っております。

本日の大会には、８００人を超える多くの皆様にご参加いただき、心から感謝を申し上げます。大会終了後に実施いたします道路視察では、県内の工事箇所や、景勝地などを、ご視察いただきますが、この中で、世界で最も美しいアリーナとしてユネスコのベルサイユ賞で最優秀賞を受賞いたしました、最大収容人数１万人規模の香川県立アリーナもご覧いただければと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年７月に、熊本県において、震度７の大地震が発生し、また、８月には千葉県のほか、全国各地で記録的な豪雨があり、多くの方が被災されましたほか、道路等のインフラについても大きな被害がありました。

被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます

来賓挨拶

国土交通大臣代理
国土交通省大臣官房審議官
和田　卓



古賀最高顧問、佐藤会長をはじめ、全国からお集まりの皆様には、日頃より道路行政に対しまして、格別のご理解・ご支援を賜っておりますこと、また、本日の第76回全国大会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただきました大山委員長をはじめ、大会実行委員会の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

あわせて、トラック、バス、タクシーなど業界の皆様をはじめ、我が国の社会経済・国民生活を支える、大事な役割を担っていただいております全ての関係者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。

本日、ここ高松市において、公務ご多忙の中、池田香川県知事にご臨席いただき、「全国道路利用者会議第76回全国大会」が開催されますことを心からお祝いし、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、本年も、最大震度7を記録した熊本地震や、線状降水帯の発生に伴い、総降水量が３００ｍｍを超える記録的な大雨により大きな被害をもたらした千葉豪雨等の自然災害が各地で発生しております。

激甚化・頻発化する気象災害や大規模地震への対応は喫緊の課題であり、防災・減災、国土強靱化は、国民の生命・財産・暮らしを守り、強い経済を下支えする重要な「危機管理投資」であります。

令和７年６月に閣議決定された「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、高規格道路ネットワークの整備や老朽化対策等の抜本的な対策等を含め、防災・減災、国土強靱化の取組を促進してまいります。

また、日本列島を強く豊かにする「成長投資」の観点から、成長投資を支える基盤である高規格道路等の物流・人流ネットワークの早期整備・活用、渋滞対策、物流支援、モーダルコネクトの強化等の取組を推進してまいります。

さらに、日本経済を支える皆様のご活躍を支援するため、ドライバーの確実な休憩機会の確保など、ドライバーの労働環境改善の取組を進めてまいります。

令和９年度予算においては、補正予算依存から脱却し、恒常的な施策は当初予算に計上することとされておりますが、人件費や資材高騰等の物価高対策を含め、道路整備に関して山積する課題の解決に向けて、これまで以上に必要な予算を確保しなければなりません。そのためには、皆様の力強いお力添えが不可欠です。また、予算の確保とあわせて、発注の平準化や地方財政措置への配慮についても、関係省庁と連携しながら、取り組んでいくことが重要であると考えています。

国土交通省としましては、皆様方の幅広いご意見を賜りながら、現場力・総合力を最大限に生かし、国民の皆様の安全・安心の確保、災害に屈しない強靱な国土づくりに取り組んでまいりますので、なお一層のご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

来賓挨拶

香川県知事
池田豊人



本日、このように全国道路利用者会議の第76回全国大会が、この香川県で開催されましたこと、香川県知事としても、また、道路局長のＯＢとしても大変嬉しく思います。ありがとうございます。

また、全国各地から、日頃より道路を利用され、整備をされておられる皆様に、この香川県高松市においでいただきました。ご来県誠にありがとうございます。

そして、先ほどご挨拶いただきました、全国道路利用者会議の佐藤信秋会長、そして、長年この全国道路利用者会議をリードしていただきました、古賀誠最高顧問にもご来県いただきました。ありがとうございます。

利用者の方にも大勢参加いただいておりますが、壇上には、全日本トラック協会最高顧問の坂本副会長、ハイヤー・タクシー連合会常任理事の楠瀬副会長にもお見えいただきました。また、国土交通省からは、和田大臣官房審議官にも、お忙しいところ高松まで来ていただきまして、ありがとうございます。

道路は、今更いうまでもありませんが、単なる移動手段ということではなく、暮らしを守る命の道でありますし、産業、観光振興、そして、災害が起こった時の復旧の要になる、大変大事な、根幹的な社会インフラであると思います。

このような、大事なインフラを利用する立場の大勢の方々が、日々利用する中で、渋滞や安全面で問題がある箇所、現場の声を丹念に拾い集め、収集して届けてくださっておられます。また、その声を的確に日々対応をしていただいている道路管理者の皆様、全国道路利用者会議に集まっておられますこうした方々に敬意を表します。また、この活動は極めて重要な活動でございますので、これからも続けていただければと思います。

我が香川県、この高松は、四国の玄関口と言われておりまして、高速道路ネットワークと瀬戸大橋がつなぎ合わさって、この四国と本州のつなぎ目の役割を果たしてきたところでございます。皆様には、この香川での大会の際には、この瀬戸内海、多島美の島々、街中には全国でも有名な賑わいである商店街、そして、先ほど大山実行委員長からもお話が出ましたが、県立アリーナを中心とした、この港の賑わいのある街もぜひ、見ていただければと思います。

古くから四国の玄関口として栄え、現在も県都として行政や経済の中枢都市として機能しているところでございます。

瀬戸内海の島々を舞台に3年に1度開催される瀬戸内国際芸術祭や国の特別名勝に指定されている栗林公園、源平合戦の古戦場として知られる屋島など、多彩な観光資源を有しており、国内外から多くの観光客の方においでいただいているところでございます。

こうしたまちの活力や日々の市民生活、そして観光交流を支える最も重要な社会基盤が道路であるというふうに存じているところでございます。

本市におきましても、都市部における慢性的な渋滞の緩和、歩行者や自転車が安心して通行できる空間の確保、さらには通学路の安全対策などに取り組んでいるところでございます。

一方で、南海トラフ地震の切迫性の高まりや近年激甚化、頻発化しております自然災害の発生を踏まえまして、防災・減災対策を鋭意、本市としても進めているところでございますが、本年は、熊本地震、あるいは千葉豪雨、さらに昨年1月には、埼玉県八潮市において、道路陥没事故がございました。被災者の方々へお見舞い申し上げますとともに、緊急輸送道路ネットワークの確保や安全で持続可能なインフラの維持管理が重要な課題であることをあらためて痛感したところでございます。

本大会の開催を通じて、ご参加の皆様方をはじめ、道路行政に関わる多くの皆様と心を一つにして、これからの道路整備の促進に全力で努めてまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

来賓挨拶

香川県議会議長
氏家孝志



今日は、全国道路利用者会議第76回全国大会が全国各地から、多数の皆様をお迎えし、このように盛大に開催されておりますこと、心からお慶びを申し上げます。

全国道路利用者会議におかれましては、昭和24年の創立以来、長きにわたり、道路は生活の、そして国土の基盤であるという確固たる信念のもと、道路整備の促進や安全性の向上に向けて、力強い歩みを続けてこられましたことに、まずもって敬意と感謝の意を表します。

佐藤会長、古賀最高顧問をはじめ、関係の皆様のこれまでのたゆまぬ歩みと多大なるご貢献に深く敬意と感謝の意を表します。

あらためて申すまでもございませんが、道路は私たちの日常生活や経済活動、さらには救急医療や観光振興を支える最も基本的なインフラであり、激甚化する自然災害に際しては、被災地の迅速な復旧・復興を力強く支える命綱でもあります。

しかしながら現在、建設分野における深刻な人手不足や資材価格の高騰など、道路整備や維持管理を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。こうした今だからこそ、皆様方からの現場の声を国へと届けて、必要な予算や財源の確保、そして速やかな整備態勢の構築を強力に求めていくことが極めて重要でありますことと存じます。

本日は、四国学院大学の田尾教授による講演、そして道路視察も予定されているとお伺いしております。田尾教授が火付け役となり、道路ネットワークが支えた讃岐うどんブームの歴史などに触れながら、本県の道路整備の今をご覧いただきますとともに、讃岐の豊かな自然や歴史、そしておいしい料理もぜひご堪能いただきたいと存じます。

来賓挨拶

高松市副市長
小泉　誠



本来ですと、大西市長が参りまして、ご挨拶申し上げるところでございますが、出席が叶いませんので、大西市長から祝辞を預かってまいりましたので代読させていただければと思います。

本日、全国道路利用者会議第76回全国大会が、ここ高松市でこのように盛大に開催されますこと、まずもってお慶びを申し上げますとともに、本市にお越しいただきました皆様方を心から歓迎申し上げます。

ここ高松市は、北は穏やかで美しい瀬戸内海に臨み、南は緑豊かな讃岐山脈に囲まれた自然の恵み豊かな街でございます。

決議

次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現すること。

一、我が国の生産性を向上させ、日本列島を再び豊かにしていくため、日本成長戦略や地域未来戦略等も踏まえ、成長投資につながる道路ネットワークの強化を図ること

一、令和八年熊本地震及び令和八年八月千葉豪雨をはじめ、全国各地で相次いだ豪雨では、災害に強い道路ネットワークの重要性が改めて認識されたところであり、国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算については、危機管理投資による強い経済の実現の観点も踏まえ、通常道路予算とは別枠で必要な予算を満額確保すること

一、安全・安心な道路空間の確保に向け、計画的な老朽化対策や交通安全対策を推進すること

一、カーボンニュートラルの推進やドライバー不足への対応等のための渋滞対策、休憩施設や交通結節機能の強化を推進すること

一、高速道路料金について、利用に応じた公平な料金制度を基本としつつ、事業者向け割引を継続すること

これらの項目も踏まえ、我が国の経済や地域の生活・なりわいのため、資材価格の高騰、近年の建設業における人件費の上昇等の影響を踏まえ、計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、『強く豊かな日本』投資枠』の活用及び新たな財源の創設等により、道路関係予算は、所要額を満額確保すること。

令和八年十月二十二日

全国道路利用者会議
第七十六回全国大会